

環境省・オフセット・クレジット(J-VER)認証運営委員会 御中  
(事務局:気候変動対策認証センター)

平成 23年2 月 21日

### 温室効果ガス排出削減・吸収量認証依頼書

オフセット・クレジット(J-VER)制度における検証が終了しましたので、利用約款記載のダブルカウントを回避するための措置を適切に執り行うことを誓約のうえ、下記の温室効果ガス排出削減・吸収量の認証を依頼いたします。

プロジェクト名			
北海道4町連携による間伐促進型森林づくり事業			
【依頼者】 プロジェクト代表事業者			
事業者名(フリガナ)	森林バイオマス吸収量活用推進協議会		
住所	北海道上川郡下川町幸町63番地		
代表者氏名	下川町長 安 齋 保	代表者役職	会長
担当者氏名	春日 隆司	担当者 所属部署・役職	事務局長 (下川町地域 振興課長)
担当者 E-mail	t.kasuga@town.shimokawa.hokkaido.jp	担当者電話番号	01655-4-2511
プロジェクト事業者・プロジェクト参加者			
プロジェクト事業者名	足寄町・下川町・滝上町・美幌町		
プロジェクト参加者名	該当無し		
オフセット・クレジット(J-VER)取得予定者			
事業者名(フリガナ)	森林バイオマス吸収量活用推進協議会 (シンリンバイオマスキュウシュウリョウカツヨウスイシンキョウギカイ)		
	以下のうち当てはまる項目に☑ <input checked="" type="checkbox"/> 本プロジェクトのプロジェクト代表事業者である。 <input type="checkbox"/> 本プロジェクトのプロジェクト事業者である。 <input type="checkbox"/> 本プロジェクトのプロジェクト参加者である。		
妥当性確認・検証機関			
妥当性確認機関名	気候変動対策認証センター		
検証機関名	株式会社 JACO CDM		

プロジェクト情報	
プロジェクト登録番号 (4ケタ)	0002
プロジェクト登録日	2009年7月1日
プロジェクト概要 <sup>1</sup>	<p><b>【プロジェクトの目的・内容】</b> 本事業は、間伐の実施により対象森林の健全性を確保するとともにCO<sub>2</sub>吸収量を増大することを目的としている。CO<sub>2</sub>吸収量のクレジットによる追加的資金により持続可能な森林経営を実現する。</p> <p><b>【適格性基準との整合性】</b> 実施規則、ポジティブリストに準拠している。</p> <p><b>【法令遵守状況】</b> 森林法に基づく伐採届けを提出しており、法令を遵守している。</p> <p><b>【採用技術】</b> (1) 面積測定器：ポケットコンパス S-25 (メーカー：牛方商会)、高精度GPS測定器 S X Blue II、高精度GPS測定器 (Trimble Pathfinder ProXT) (2) 樹高測定器：パーテックスⅢ及びⅣ (メーカー：ハグロフ社)、ブルーメライス、トゥルーパルス360B (3) 胸高直径測定器：林尺 (メーカー：牛方商会)</p> <p><b>【モニタリング方法】</b> 面積 (コンパス・GPS・レーザー測量による実測) ・地位級 (プロット調査) ・その他係数 (「京都議定書3条3及び4の下でのLULUCF活動の補足情報に関する報告書」より) による</p> <p><b>【GHG算定式の方法論への準拠性】</b> No. R001 (Ver. 3.1) - 森林経営活動によるCO<sub>2</sub>吸収量の増大 (間伐促進型プロジェクト) に関する方法論に準拠している。</p> <p><b>【モニタリング体制】</b> 吸収量算定責任者 (各町課長) 吸収量算定・モニタリング報告書作成者 (各町林政担当) 測定データ確認者 (林政担当主査)、データ測定者 (町直営もしくは森林組合等に委託)</p> <p><b>【QA / QC体制】</b> 4町共通の教育訓練、情報管理、データの確認、内部監査、測定機器の維持管理を適切に実施。</p>

<sup>1</sup> プロジェクト概要はプロジェクトの目的・内容の他、適格性基準との整合性・法令遵守状況・採用技術・モニタリング方法・GHG算定式の方法論への準拠性・モニタリング体制・QA / QC体制等に関することを3ページ以内で具体的に記述してください。登録時から変更がなければ登録時と同内容を、登録時から変更がある場合は相違点を具体的に記述してください。

モニタリング結果概要 <sup>2</sup>	<input checked="" type="checkbox"/> プロジェクト計画に基づきプロジェクトを実施した。 <input checked="" type="checkbox"/> モニタリング計画書に基づきモニタリングを実施した。 <input checked="" type="checkbox"/> モニタリング方法ガイドライン・方法論に準拠した GHG 算定を行った。 (その他特筆すべき事項)						
適用モニタリング方法 ガイドライン	オフセット・クレジット(J-VER)制度モニタリング方法ガイドライン ( 森林管理プロジェクト用 ) ver.						
適用方法論	方法論番号	NO. R. 001 ( ver.3. 1 )					
	方法論名称	森林経営活動によるCO2吸収量の増大 (間伐促進型プロジェクト) に関する方法論					
<b>モニタリング結果</b>							
モニタリング期間	2009年4月1日～2010年12月31日						
モニタリング対象面積	<方法論R001・R003のみ> 735.28ha						
排出削減・ 吸収量	年度	2008	2009	2010	2011	2012	合計
	t-CO <sub>2</sub> <sup>3</sup>		869	3096			3965
認証依頼削減・吸収量	3965 t-CO <sub>2</sub>						

<sup>2</sup> モニタリング概要は、モニタリング方法において特筆すべき事項があれば記入してください。

<sup>3</sup> 小数点以下は切り捨てとし、トン単位で記載してください。よって、小数点処理のため、表記上では単年度の削減量・吸収量の合計と、各年度合計量が異なることもあり得ます。

ダブルカウントの防止の措置			
ダブルカウントの防止の措置を講ずる事業者	森林バイオマス吸収量活用推進協議会		
ダブルカウントの防止措置内容	J-VER 実施規則1.4 に基づき次の措置を行う。①バウンダリが同一である類似制度に申請しない、②第3者に移転する際の環境価値の所属の明確化、③クレジット売却後に環境価値を主張しない。		
公的な報告・公表制度（判明している公的制 度）	該当無し		
自主的な報告・公表対象（対象となるホームページ、環境報告書等）	プロジェクト事業者である足寄町、下川町、滝上町、美幌町のホームページ等による ・当該自主的な報告・公表媒体において、当該プロジェクトの内容及び当該プロジェクトから創出されるオフセット・クレジット（J-VER）の発行量及び売却量を明記する		
ダブルカウント防止措置責任者（プロジェクト代表事業者と同様の場合は記載不要）			
事業者名	(プロジェクト代表事業者と同様)		印
住所			
代表者氏名		代表者役職	
担当者氏名		担当者 所属部署・役職	
担当者 E-mail		担当者電話番号	
備考欄			

以 上